

事例でわかる！

QRコードで
簡単参加申し込み！



アルコール健康障害 への介入 オンラインセミナー

飲酒問題の早期発見・早期介入ツールを活用しよう！



依存症の人は精神科で見てもらうんでしょ？
僕たち一般科ではできないことないよね？

そんなことはありません！依存症は、総合病院や
一般科の介入によって早期発見・早期回復が見込
める病気です。



依存症は「心の問題」では？
一般病院にいられてもわたしたちでお酒を飲
むのをやめることを説得するのは…

確かに「飲むのを止められない」という点では
精神的な問題ですが、依存症の方の多くは、精
神科受診に至る前に内科系（特に消化器、循環
器系）、整形外科に受診されており、そこで介入
することが効果的なのです！



なるほど、まずは身体科が介入することで医
療につなげることはできそうですね！
たとえば、内科に依存症の方が来たときには
どうコミュニケーションを取ったらいい？

このセミナーでは簡易介入のやり方をロールプ
レイで体験することができます。是非ご参加い
ただき、現場で活用してみてください！



タイムスケジュール

13:00 受付開始

13:30 開会

基調講演

「もしかしてアルコール依存症？という患者さんに出会ったら
～アルコール依存症の理解と支援のポイント～」

一宮研伸大学 看護学部 大谷恵

グループワーク

アルコール依存症の可能性のある患者さんへの対応
～事例で考えるアルコール問題の早期発見・介入～

助言者：刈谷病院 アディクションセンター長 菅沼直樹

八事病院 八事アルコール医療センター長 奥田正英

体験談の発表

発表者：愛知県断酒連合会

16:30 閉会

日時 令和4年7月9日 土

13:30～16:30

対象者 総合病院、一般科病院・クリニック、精神科病院・クリニックにお勤めの方
行政機関担当者、福祉相談機関担当者、医師・看護師・専門職を目指す学生の方
など

参加費 **無料** 定員 **80名**

主催 愛知アルコール連携医療研究会

協力：愛知県断酒連合会 日本プライマリケア学会 中部ブロック支部
日本アルコール関連問題学会 東海北陸地方会

大谷恵 先生 一宮研伸大学看護学部 教授（精神看護学領域）

学生時代に実習でアルコール依存症患者と出会い、アルコール依存症に興味をもつ。大学卒業後、東京都内の精神科病院のアルコール依存症専門病棟勤務。
アルコール依存症の人たちとの出会いを通して、早期に治療や支援につながるために、身体科と精神科、専門治療との連携の大切さを実感する。看護基礎教育に携わるようになり、アルコール使用障害の看護について教育を行っている。現在は、身体科に勤務する看護師へのアルコール使用障害の早期発見・早期介入に関する教育と支援に取り組んでいる。

事務局：医療法人 成精会 刈谷病院 / 医療法人 資生会 八事病院 八事アルコール医療センター

0566-21-3511 (刈谷病院
医療社会事業科 高森)

aichialrenkei@gmail.com

事例でわかる！

アルコール健康障害への介入 オンラインセミナー

セミナーへの参加方法はコチラ！



- ・安定した通信環境下でご受講ください。
- ・カメラとスピーカー内蔵又は設置のパソコン・タブレットを各自でご準備ください。
- ・通信機器の不具合については事務局では対応しかねますのでご了承下さい。
- ※撮影、録画、資料の無断転載・複製などは固くお断りいたします。
- ・グループワークを行うため、スマートフォンでの参加はお控えください。

1



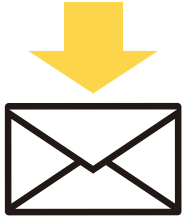
下記 QR コードの入力フォームもしくは
aichialrenkei@gmail.com へお申し込みください。

件名を「7/9 研修申込み」とし、

①お名前 ②ご所属* ③電話番号 ④連絡用メールアドレス
をそれぞれご記入お願いいたします。

※それぞれの機関、職種、学校名、学部等をご記入いただき、所属のない方は「一般」とご記入下さい。

2



お申込みいただきました方の連絡用メールアドレスへ、
開催当日までにZoomの参加用URLをお送りします。

迷惑メール対策設定状況によってはメールが届かない場合がありますので、あらかじめ当該メールを受信できるよう受信リストに設定ください。

3



当日はお送りした参加用URLよりセミナーにご参加ください。

本研修はZoomで実施いたします。Zoomのダウンロード、利用方法等については各自ご確認をお願いいたします。

QRコードからでもお申し込みできます！

右の QR コードを読み取り、申込みフォームに必要事項を入力の上、送信してください。

